

秋のクマに注意！

○ 秋のクマは、冬眠に備えて脂肪を蓄えるため、エサを探し回ります

秋のクマは、冬眠に備えてブナ、ミズナラ、コナラ、クリなどのドングリ（堅果）をはじめ、ヤマブドウなど山にある食べ物を昼も夜も探して食べ続けます。ドングリ等が不作の年は、エサを求めて人里に出没し、カキやクリを食べることもあります。

○ 11月中旬頃から、ツキノワグマは冬眠期に入ります

冬の間は食べ物がないため、クマは11月中旬頃から概ね12月末までに、冬眠をはじめます。倒木の根本、木の根と地面とのすき間、岩穴、樹洞などのほか、背丈の高い笹ヤブの中などで冬眠しますので、入山時は近寄らないようにしましょう。

○ ツキノワグマは冬眠中に出産し、3月下旬頃に目覚めて活動を始めます

冬眠前にドングリ等を十分に食べ、栄養を蓄えたメスは、冬眠中に1～2頭の子熊を出産します。3月下旬頃、飲まず食わずで冬眠から目覚めたクマは、食べ物を探して山中を動き回ります。出産したクマは子連れとなり、神経質になっています。

クマと遭遇しないよう次のことに注意してください

◆ 里地にクマを寄せ付けない対策を

- ・秋には、カキやクリ、リンゴなど豊かな実りがありますが、放置してしまうとクマを引き寄せてしまいます。収穫しない果樹はあらかじめ伐採したり、畑や果樹園等の周囲には電気柵を設置するなど、クマを寄せ付けない対策をとりましょう。
 - ・生ゴミは、クマにとって栄養価の高い食べ物です。一度餌付いてしまうとその場所に執着するようになり、人に見つかることを恐れなくなるなど、人身事故の危険性が高まります。生ゴミを長時間屋外に放置しないように適切に管理をしてください。
- （クマを引き寄せるもの：漬物、廃油、油性塗料、燃料 等）

◆ 山及びその付近での対策

朝夕の行動は避け、複数人で行動する

- ・朝夕はクマが活発に活動します。この時間帯に山中に入ることは避けましょう。
- ・1人ではなく、複数人で行動しましょう。

クマ鈴、ラジオ、笛などを携帯する

- ・クマは聴覚や嗅覚が人より優れています。クマ鈴、ラジオ、笛など音の出る物を鳴らしながら、クマに人の存在を知らせる対策をしましょう。
- ・釣りやキャンプで溪流沿いを移動する場合は、水の音でクマも人もお互いに気付かず、思わぬ距離まで接近してしまうことがあり注意が必要です。またキノコ採りで山中に入る時は、夢中になりすぎないように注意しましょう。
- ・クマ鈴等は万能ではありません。過信せず、周辺の気配に注意しましょう。

クマのいる場所に近づかない

- ・山中はクマの生息地で、どこにいてもおかしくありません。クマの足跡や糞などを見つけたら、それ以上近づかずに引き返しましょう。